

## ご挨拶

会長 才木 康彦



このたび『関西潜水連盟・KD Japan』は、おかげさまをもちまして創立40周年を迎え、新たなるスタートをすることとなりました。

1968年に村上名誉会長をはじめ諸先輩がたのご努力により関西潜水連盟は関西を中心として発足いたしました。阪神淡路大震災の後、1998年には創立30周年記念総会を盛大に開催することができましたが、日本経済のバブル崩壊後の不景気は潜水業界においても厳しい状況が続いております。しかし当連盟におきましては、この10年の間、安全潜水に徹し、会員の皆様や関係各位のご協力により今日まで発展をしております。

1999年には念願であるKDマニュアルの全面改訂を行い、新たなダイビングマニュアルを制作することができました。このマニュアルは関係各位のご協力はもちろんではありますが、執筆ならびに編集はすべて連盟の指導員によって制作されました。これに続いて指導認定基準の改定（CMAS認定基準に準ずる）を実施し、各認定講習や指導員の育成の基本として活用しております。

これらを所管する連盟事業管理委員会においては、指導員の名簿管理（資格維持管理等）をはじめ上級指導員資格取得講座や指導員研修会の開催、指導認定基準の維持管理、安全潜水マニュアルの維持管理と実践、KDホームページの維持管理など多岐にわたり会員の皆様のため活発に活動しています。

連盟の各種行事を行う事業委員会の活動として、会員の皆様からの応募により水中写真コンテストを開催し、優秀作品の表彰とともに出展作品を中心とした連盟オリジナルのカレンダーを作成し、毎年会員の皆様を提供しております。また2006年（6月～10月）には『日刊ゲンダイ』紙に優秀作品が掲載されました。

また水中スポーツ大会やUWO競技大会を40年近くも開催できたことは、会員の皆様や関係各位のご協力のおかげであり、その結果として会員皆様の親睦はもとより、潜水の基礎的な技術をはじめとして、安全潜水の啓蒙に寄与できたものと考えます。

支部活動においては、この10年の間に新たに2支部（舞鶴支部・沖縄支部）の加盟があり、各地域の特性を生かした活動が会員の皆様とともに行われています。

関西潜水連盟は創立以来、各地域の海上保安本部、消防局、日本赤十字社などの監督官庁の下でダイバーへの安全指導や地域におけるボランティア活動の実践、またCMAS日本協議会、社会スポーツセンター・DAN JAPANのメンバーとして各指導団体の皆様と広く交流をかさねてまいることができました。これもひとえに関係各位ならびに会員の皆様のお力添えによる賜物と心より御礼申し上げます。

近年、ダイビングを取り巻く環境はいろいろと厳しい状況が窺えますが、関西潜水連盟は、諸先輩方により育成されてきました安全潜水に対する姿勢と、連盟の基本理念である「親睦と融和と奉仕の志」を受け継ぎ、これからも連盟の発展のために会員の皆様とともに、専心努力いたしたいと思っております。